

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン
2022年度第1回理事会議事録

1. 日 時 : 2022年2月6日(日) 10:00~11:40

2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1インターグループビル ZoomにてWeb会議

3. 出席者

(1) 出席者 10名 大橋健、水野勝教、今井俊二、中島晃芳、島谷太、森重智年、勝村航太
松山森仁、政岡恵太郎、田中宏明(監事)

欠席者 1名 野村泰朗、

(2) 理事以外出席者 3名 前田正久(事務局長)、浅沼まり(事務局)、休場万喜(事務局)

4. 議 事

1. 2021年度事業報告(案)、収支決算報告(案)
2. 2022年度予算(案)
3. 2022名古屋大会について
4. 議事録署名人の選定
5. その他

5. 資 料

- 資料1-1. 2021年度事業報告書(案)
- 資料1-2. 2021年度収支決算報告(案)
- 資料2. 2022年度予算(案)
- 資料3. 会場図(案)
- 資料4. リチウムイオン充電池について
- 資料5. 同意書(案)
- 資料6. 配信システム図

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①大橋代表理事が議長に選出され開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

(2) 2021年度事業報告(案)、収支決算(案)

①島谷理事より、資料1-1に基づき、2021年度事業報告書(案)および資料1-2に基づき収支決算報告(案)について説明がなされ、承認された。

②田中監事より、2021年度事業報告書および収支決算書を監査した結果、いずれも適正かつ正確であったとの報告がなされた。

(3) 2022年度予算(案)

①島谷理事より、資料2に基づき、2022年度予算(案)について、名古屋大会の開催判断が未定のため、会場開催あるいはオンライン開催する場合の2パターンで予算案を作成した旨説明がなされた。前田事務局長より、経常収益のうちJST交付金はないので、項目を削除してはどうか。事業費のうち開催支援金は大会負担金の項目なので、スタッフ関連の経費についてはスタッフ交通費の項目へ変更するべきではないかとの意見がなされ、修正することとなった。松山理事より、RCJJより開催委員会に対し開催支援金を支払うのかという質問に対し、前田事務局長より、例年どおり開催支援金は、開催委員会へ100万円お支払いし、委員会で協議したとおり、残りの150万円でRCJJがスタッフ交通費を負担することとなったとの説明がなされた。松山理事より、世界大会がハイブリッド方式で行われた場合、RCJJとして支援金を出すのか、また現地大会があった場合、渡航制限があっても推薦はするかとの問いに対し、島谷理事は、予算としてはジャパンオープンが会場開催された場合は、世界大会への支援金を出せるが、オンライン開催になった場合には、出すことは難しいとの回答がなされた。水野専務理事より、JSTの交付金があった時は、ブラジルやメキシコなど渡航制限があった国に推薦を出した例はあるが、RCAPでは渡航制限レベル1以上の国へは推薦をしていない。前代表理事の時に渡航制限が出ている国への推薦はしないとの決定がなされたが、

今後は渡航制限がある場合でも推薦するか否かの議論を理事会で行う必要があるとの意見がなされた。大橋代表理事より、現状のコロナ禍では、渡航制限が出ている国への推薦や援助は難しい、予算の可能な限り支援はしたいが、世界大会はオンラインで行われる傾向にあるのではとの意見がなされた。大橋代表理事より、予算案の是非を問うたところ、2点を修正することで承認がなされた。

(4) 2022名古屋大会について

①大橋代表理事より、オンサイトかオンラインかの開催判断とその時期について、意見を求めた。

・前田事務局長より、まん延防止等重点措置の期限が延長されると思うが、延長終了後に状況が好転しているとは考えにくく、また大阪では小中高の多数が休校しており、部活動の制限もある。まん延防止の期間延長の有無が開催判断になると思われるが、最終判断は開催委員会の判断になるとの意見がなされた。水野専務理事より、まん延防止が出ている限り、学校は県外への移動を制限するのではとの意見がなされた。

・大橋代表理事より、2月27日まで延期された場合、開催まで3~4週間で大会準備ができるのかとの意見がなされた。前田事務局長より、子供たちもワクチンを打つが、3月の大会までには間に合わないと思う。オンサイト中止の発表は早くした方が、参加者やスタッフにとってもオンラインの準備が早くできる。オンサイトでの実施は、小中学生の保護者の反対もあることが予想されるので難しいのではとの意見がなされた。大橋代表理事より、RCJJとしてはオンサイトでの開催は難しく、中止となった場合はオンラインで実施するという提言を開催委員会にすることで意見がまとめられた。事務局より、オンサイトでの開催が中止となった場合は、総会を3月中旬頃までには実施する必要があり、3月初旬までに案内を出さなければいけないとの説明がなされた。

・松山理事より、いつ頃Webで発表できるかとの問いに対し、前田事務局長は、開催委員会が中止を正式発表すれば、Webでも発表できるとの回答がなされた。

・大橋代表理事より、オンラインでの開催となった場合の日程案について、ゴールデンウィークはどうかとの意見がなされた。島谷理事より、年度が変わるのはどうかとの意見がなされた。政岡理事より、3月末の実施では選手、スタッフも準備が間に合わないのではとの意見がなされた。大橋代表理事より、世界大会(7月)もあるので、4月29日頃でどうかとの意見がなされた。

・松山理事より、オンサイトになった場合の参加費はいくらかとの問いに対し、前田事務局長より例年通り15,000円との回答がなされ、公式HPにも掲載することで確認がなされた。

②松山理事より、資料3に基づき、選抜チーム数の変更により会場の新しいレイアウトについて説明がなされた。また、バッテリー問題について、資料4に基づき説明がなされ、和歌山大会ではリチウムイオン使用同意書の提出を当日に行っていたが、エントリー時に事前提出してもらいたいので、エントリーフォームを変更することは可能かどうかの確認がなされた。政岡理事より、ラックにバッテリーを集めて充電するのは危険ではないかとの意見がなされた。水野専務理事より、作業台とラックでは、どちらが怪我人の発生する確率が高いか、という点からラックに集めることになった経緯があるとの説明がなされた。政岡理事より、名古屋のような広い会場であれば、ラックに集める必要はないのではとの質問に対し、水野専務理事より、名古屋のような広い会場は特別で、和歌山大会の会場が標準であるとの意見がなされた。

③今井理事より、資料5に基づき、同意書の追加項目について説明がなされた。前回のオンライン開催では、プレゼンポスターに写真や名前があり一般公開を辞退したチームがあったため、事前に公開の許諾を得るための項目を追加したとの説明がなされ、承認がなされた。また、オンライン配信について、資料6に基づき、業者との打ち合わせ内容や配線図の説明、サッカーオープンの競技を実況中継できるようオーディオミキサーを入れる提案があるとの説明がなされた。水野専務理事より、図面によるとOnStageのステージ裏にモニターの設置等あるようだが、競技者の導線とかぶるのではとの問いに対し、今井理事から場所の調整は可能との回答がなされた。著作権帰属の件について、すべての著作物は開催委員会に帰属するとなっているが、録画したデータが使用できるよう、また開催委員会解散後のデータの管理について、開催委員会から使用許可をもらう必要がある旨提案がなされた。これに対し、大橋代表理事は、午後の開催委員会でこの件を議題に上げるとの回答がなされた。

④大橋代表理事より、MathWorks社よりロボカップジュニア向けにウェブセミナーの企画を頂いており、HPへの告知依頼があったとの説明がなされ、HPにて周知することで確認がなされた。

⑤中島理事より、コロナ感染拡大により2月のブロック大会を3月13日に延期してもいいかとの問い合わせがきており、回答を出す必要がある。また、参加チーム情報を回答していないブロックが3件あるとの報告があり、事務局から確認することとなった。

⑥松山理事より、オンラインの場合のスタッフ募集について、早期に始めたいとの要望がなされ、今井理事が募集案を作成することで確認がなされた。

・松山理事より、オンサイトの場合のスタッフ登録したメンターへの交通費補助についてどうするか質問がなされ、今井理事がスタッフ交通費(案)を作成することで確認がなされた。

(5) 議事録署名人の選任

本日の議事録署名人として、森重智年氏、及び中島晃芳氏にお願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2022年2月6日

議 長 大橋 健

議事録署名人 森重 智年

同 中島 晃芳

